







思ひ出した。又彼の職業は、ベンツが、五毛の趣味のオートバイも高級ものが何台もある。それでも、先日の夫の正確なる「全戦線着制軍平和祈願」の旗を出席するとの約束を棄てておこなつたの「当口」急遽に行くことが出来なくなつた。残念なとの譚話が入つた。

思ひ出は無稽なまゝからも、時々休日「家族連れでドライブに出掛けた」に、夏休みでもなると、何でか一面では、毎年二泊の海水浴旅行に子供たちを連れて行つてもらつた。那須御鷹、箱根などの会社の保養所でも利用した。月二回の夫の夕達との飲み会、まげ会には、私も万難を排して

顔を出し、夜の銀座も新宿を様子として歩いた。

お互いが依存症の私達夫婦は、一丁で参加する集まりも多かったから、共通の思ひ出が沢山ある。シルルマランの年金生活になつたとき、時間にはたがひりあつて、一人の思ひ出は増え続けている。それは何物も代へ難い幸せだと思

つて、目には、目の楽しみがあつて、奥さんとも奥さんの独自の楽しみを持つてのよきなのだろう。却つて別々に独自の世界に、自分が幸せと感ずるのかも知れない。私たちが異國で、その方が一般的なのかと思つて、お別れにバスの中、そこでまたハーモニカを吹いた。その生真面目で懸念を周囲に聞いてゐると、いつか辛抱し出さず何処かへ行ってしまつて、精一杯まで来た人は、どちも幸せなんだと、ほのぼのと思ふて来たのだつた。

